

受付

5.3.22

No.409

企画部

共通第11号様式(第17条第1項)

令和 4 年度 補助事業等実績報告書

令和 5年 3月22日

函館市長 工 藤 壽 樹 様

〒040-0035

住所 函館市松風町10番2号

補助事業者等

団体名 函館日韓交流会

代表者氏名 申 東煥

補助事業等の名称 日韓科学交流事業

令和5年2月2日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和5年3月3日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 20,000円/

補助金等領収済額 金 20,000円/

補助金等領収未済額 金 0円/

補助事業等の計画（実績）書

名 称	日韓科学交流事業
開 催 期 日	令和5年2月28日～令和5年3月3日
開 催 場 所	函館市内学童保育所、はこだて未来大学、 函館市国際水産・海洋総合研究センターなど
主催者，共催者 および後援者等	主催 函館日韓交流会 共催 株式会社函館研究所
参 加 人 員	・韓国側1名（東亜日報傘下東亜サイエンス教育企画研究所長） ・日本側17名（科学教室8名、ワークショップ3名、表敬訪問6名） ----- うち外国人参加人数 1名
補 助 事 業 等 の 内 容	韓国の東亜サイエンス教育企画研究所長である [] を招き、日韓の科学教育者による交流を図った。 ・日韓の科学教育者による児童向けの科学教室の実施。 ・日韓の科学教育者によるワークショップの実施。 ・科学教育関連機関の表敬訪問の実施。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	本事業の実施により、科学教育者としての知見を深められたことはもちろん、次世代を担う児童の育成に繋がったほか、コロナ禍で途絶えていた日韓交流の促進や友好親善が図られた。
備 考	<子供科学東亜> 東亜サイエンスの子供向けの科学雑誌で月2回発行。 この雑誌では「子供科学東亜記者団約25,000人」と市民参加科学プロジェクト「地球愛探査隊年間約3,500人」を運営中。 [] は元編集長であり、プロジェクト企画者である。 通常、ソブソブ博士として、科学教室を開催している。

- (注) 1. この様式は，大会等の開催その他これに類する事業等に係る補助金等の実績報告をする場合に使用すること。
2. 補助事業等の内容は，詳細に記載すること。（別紙も可）
3. その他必要と認められた書類を添付すること。

補助事業等の収支予算(決算)書

収入の部

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度予算額)		前年度予算額 (本年度決算額)		増	減	内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業			
自己資金	29,000	20,000	26,683	14,508	△2,317	△5,492	
協賛金	20,000	20,000	26,000	26,000	6,000	6,000	
函館市補助金	20,000	20,000	20,000	20,000	0	0	
負担金	12,000	0	9,000	0	△3,000	0	
合 計	81,000	60,000	81,683	60,508	683	508	

支出の部

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度予算額)		前年度予算額 (本年度決算額)		増	減	内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業			
報償費	22,000	22,000	23,980	23,980	△1,980	△1,980	
交通費・宿泊費	28,000	28,000	29,449	29,449	△1,449	△1,449	
会場使用料	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	
事務経費	5,000	5,000	2,079	2,079	2,921	2,921	
その他	21,000	0	21,175	0	△175	0	
合 計	81,000	60,000	81,683	60,508	△683	△508	

収支差引額 0 円

- (注)
1. この様式は、補助金等に係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認められた書類を添付すること。

予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
自己資金	26,683	14,508		
協賛金	26,000	26,000		株式会社函館研究所
函館市補助金	20,000	20,000		
負担金	9,000	0	3名@3000円	懇親会費
合 計	81,683	60,508		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち 補助対象事業		
報償費	23,980	23,980	講師謝礼 10,000円 通訳謝礼 9,000円 記念品 4,980円	添付① 添付② 添付③
交通費・宿泊費	29,449	29,449	交通費 10,249円(277km*37円) 宿泊費 6,400円×3泊=19,200円	添付④ 添付⑤
会場使用料	5,000	5,000		添付⑤
事務経費	2,079	2,079	消耗品等	添付⑥
その他	21,175	0	懇親会 9,350円 食事代 10,025円 五稜郭タワー1,800円	補助対象外
合 計	81,683	60,508		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。